

修正等対応表

	委員の皆様からのご意見等	対応内容	該当ページ
1	重層的支援体制整備事業をはじめとして、国の政策動向に合わせて、臨機応変に対応する旨の記載があったほうがいいのではないか。	「3. 計画の期間」に国の制度改革や社会情勢、市民ニーズの変化に合わせて見直しを行うことを記載	P6
2	①「段階的な地域参加の促進」に関して「多様な関わり方を認める」という表現は上から目線に感じる。	該当箇所を「多様な関わり方を尊重し、それぞれのライフスタイルに応じた参加が可能な地域づくりを進めます」と修正	P46
3	重点取組1の「身寄りのない方等への支援」について、「身寄りのない」だけでなく、「孤立、孤独」という観点で取り組むべきではないか。	重点取組1のタイトルを「社会的に孤立している方や孤立リスクのある方への支援」とし、計画本文中での表記を「つながりが希薄な人・孤立状態にある人」に修正	P55
4	重点取組について、具体的にどのように進めるか、明記したほうがいいのではないか。	重点取組ごとにロードマップを追加	P57・P59
5	企業・学校だけでなく、NPO との連携も記載して欲しい。また「市民活動プラザ」などの施設についても、記載したほうがよい。	行政の主な取組の（2）に市民活動プラザ等との連携に関する文言を追記	P62
6	基本目標1の成果指標は「助け合い・支え合いを感じる市民の割合」ではなく、「地域活動等に参加したかどうか」のほうがいいのではないか	基本目標1の成果指標について、「地域の行事や活動、ボランティア活動などのまちづくり活動に参加している市民の割合」に変更	P109
7	市や県の想定される連携窓口を巻末に示すと市民はわかりやすい。	巻末に市や県の福祉に関する相談窓口等を記載	P134-139